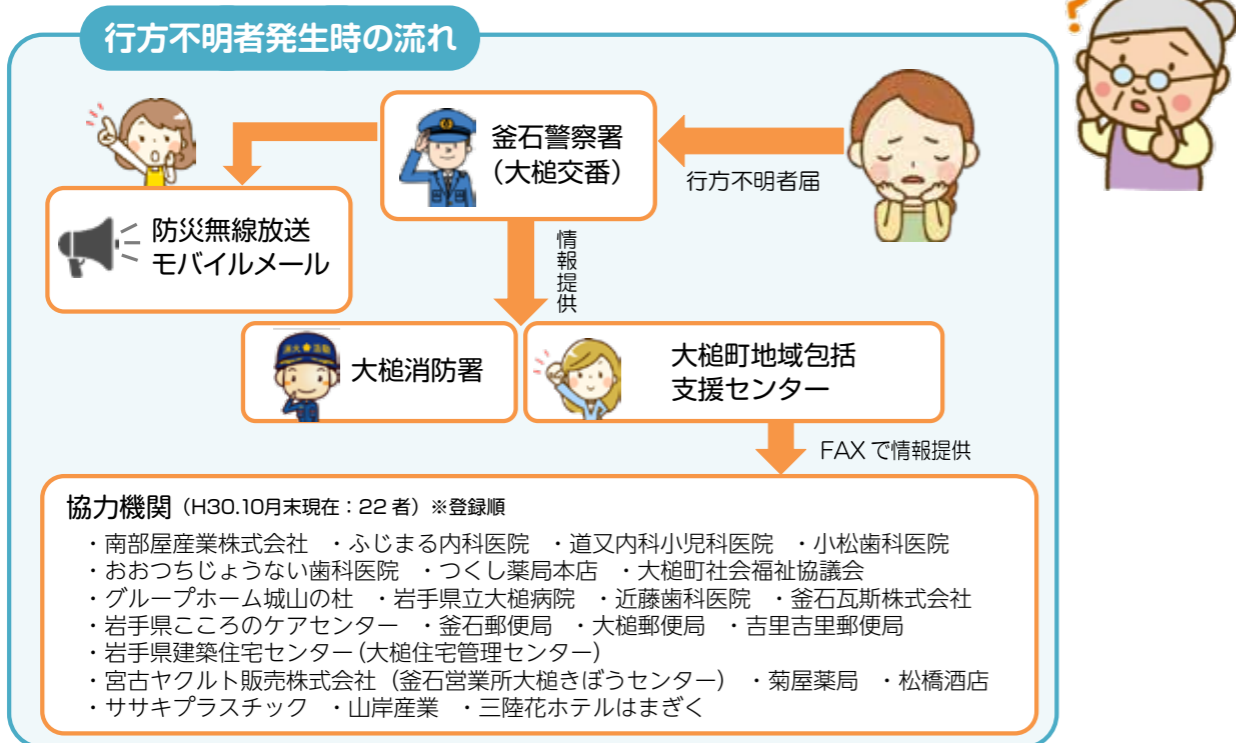


大槌町行方不明高齢者等早期発見事業のご案内

認知症などの病気により、記憶力や判断力が低下し自宅に戻れなかったり行方不明になったりする方が増えています。この事業では、認知症で道に迷う恐れがある高齢者などの情報を事前に登録し、緊急時には、行政、警察、消防、協力機関（民間事業者）や地域住民が協力して、早期発見につなげるものです。



認知症の人のご家族の皆さまへ

徘徊の心配のある人の名前や特徴、写真などの情報をあらかじめ登録しておくことで、必要な情報を迅速に警察署、消防署などと共有でき、早期発見につながります。

- ◆登録対象者…認知症（65歳以上）、または若年性認知症（40歳以上）により徘徊の心配のある人
- ◆必要な物…申請書・申請者の印鑑、全身写真・顔写真（過去1年以内に撮影したもの）

※対象者、協力機関の申請書は、長寿課窓口で受け取るか、役場ホームページでダウンロードすることができます。

町内の事業者の皆さまへ

地域に高齢者を見守る人を増やすために、協力機関の申請・登録にご協力をお願いします。協力機関には、行方不明者（事業登録者に限る）の情報をFAXで提供し、業務の範囲内で情報提供にご協力いただきます。

- ◆必要な物…申請書・申請者の印鑑
- ◆留意事項…情報提供をFAXで行うため、申請はFAXをお持ちの事業者様に限らせていただきます。

【お問い合わせ】長寿課 地域包括支援班 TEL0193-42-8716

ひよっこりカフェのご案内

認知症などに関する相談対応、認知症予防などに取り組んでいます。認知症の人やご家族、認知症について学びたい人など、お気軽にご参加ください。

- 日時 12月12日(水) 13:00～15:00
- 会場 つくし薬局本店 まちかどふれあい室
- 内容 「手と頭を楽しく使おう」をテーマとした活動など

問 つくし薬局本店 TEL 0193-42-8500

平成29年度 大槌町鶴亀仙(川)柳コンクール 入選作品紹介
(一般部門 運営協議会長賞) 歩の一手 作戦たくらむ 孫は初弟子 (元持 幸子さん)

小中一貫教育だより



城山の風

大槌のすべての子に豊かな「育ち」と確かな「学び」を

学校給食…今日も笑顔で

「いただきます～す！」

「手を合わせてください。みんなでおいしくいただきます。いただきます！」

当番の挨拶で始まる給食の時間です。現在はほぼ日本中の学校で学校給食ですが、その始まりは明治期までさかのぼります。

山形県の私立小学校で弁当を持ってこれない子どもたち（欠食児童）を対象に始まったと言われています。

大槌町では、昭和43年に小鏡小、金沢小で完全給食（ごはん・汁物・おかず）が実施されたのに続き、昭和49年に町内全校で実施されました。

以来、今日までさまざまな献立の工夫や栄養の充足を考慮しながら安全安心な給食の提供を続けてきました。金沢小・



小鏡小統合後は全校給食センターでの調理による提供となりました。

現在、学校給食は食材賄い分としての費用（給食費）を保護者に負担していただき、調理委託費、設備等経費は町予算で充当して運営しております。

この度、子どもたちの成長、健康の保持増進のための栄養の確保のため、15年間据え置いてきた給食費の改定を行うことといたしました。

今後とも、子どもたちが安心して食べることのできる給食の提供に努めて参りますのでご理解のほどお願いします。

1500人を超える参加者 小中一貫教育サミット終了 たくさんの御協力に感謝

東日本大震災津波の被災地東北地方初めての開催となった「第13回小中一貫教育全国サミット in おおつち」が、北海道から沖縄まで述べ人数1500人を超える参加者のもと盛会のうちに終了しました。

大会の運営に当たっては、町を挙げての協力をいただきました。初日の雨の中、街角で道案内に立ってくださった皆さん。丁寧な駐車場の誘導整理にあたってくださった皆さん。大槌の食材たっぷりのおいしいつみれ汁を作ってくれた皆さん。ホッと一息のコーヒーをサービスしてくれた皆さん。そして、前日までの草刈りや校舎清掃をしてくださった皆さん。会場の準備や後片付けなど縁の下で支えてくれた皆さん。たくさんの皆さんの御協力に心より感謝します。手作りのサミットを全国に発信できました。ありがとうございました。

サミットの詳しい報告は改めて広報でお伝えします。

たくさんのご来校に感謝!! —学校へ行こう週間・大高祭—

大高祭へは332名(昨年201名)、学校へ行こう週間へは27名(昨年は4名)の地域のみなさまにお出でいただきました。ありがとうございました。来年の「百周年記念大高祭」もよろしくお祈りします。

大槌高校 復興研究会他校交流班 軽井沢アイザック高校・盛岡第四と交流

10月18日、長野県の軽井沢町にあるアイザック高校から生徒13名が大槌高校を訪問しました。同校は全寮制の世界のリーダー育成を目指している高校で、来校したメンバーの出身地も日本、タイ、中国、マレーシア、インド、オーストラリアと国際色豊かでした。

うまく交流できるかと心配されましたが、高校生同士すぐにうち解け、思い出深い交流となりました。

また、10月30日には盛岡第四高校の「復興と再生に取り組み高等学校との交流会」に参加しました。内陸部の生徒の皆さんに大槌町の復興の進捗状況や大槌高校復興研究会の取組について紹介しました。

高校生が町の復興にかける思いを伝えることができました。

